

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年 8 月 8 日

【会社名】 日本製紙株式会社

【英訳名】 Nippon Paper Industries Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 馬 城 文 雄

【本店の所在の場所】 東京都北区王子一丁目 4 番 1 号  
(上記は登記上の本店所在地であり実際の本社業務は下記にて行っ  
ています。)

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

【電話番号】 東京 03(6665)大代表1111

【事務連絡者氏名】 経理部長 的 場 宏 充

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

【電話番号】 東京 03(6665)大代表1111

【事務連絡者氏名】 経理部長 的 場 宏 充

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

## 1【提出理由】

当社並びに連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### (1) 当該事象の発生年月日

平成30年8月8日

### (2) 当該事象の内容

リーマンショック以降、日本国内における洋紙の需要はITの進展により構造的な減少が続いており、当社は需給バランスの適正化をめざし、平成21年以降これまでに合計約170万トンの年間生産能力の削減を行ってきました。今回、さらに以下の生産体制再編成を実施することで、一層のバランス適正化とともに、固定費削減と稼働率向上を実現し、洋紙事業の収益構造の改善を図ります。

| 生産拠点            | 設備     | 能力<br>(千トン/年) | 主な生産品種    | 停機時期<br>(予定) |
|-----------------|--------|---------------|-----------|--------------|
| 日本製紙 北海道工場勇払事業所 | 2号抄紙機  | 24            | 紙器原紙      | H32.1        |
|                 | 4号抄紙機  | 25            | 工程紙 他     | H32.1        |
|                 | 5号抄紙機  | 88            | 上質紙 他     | H32.1        |
|                 | 6号抄紙機  | 116           | 新聞用紙      | H32.1        |
| 日本製紙 富士工場(富士)   | 2号抄紙機  | 17            | 色上質紙 他    | H31.9        |
|                 | 11号抄紙機 | 49            | 微塗工紙、中下級紙 | H31.6        |
|                 | 12号抄紙機 | 69            | 再生PPC 他   | H31.3        |
| 日本製紙 釧路工場       | 8号抄紙機  | 143           | 新聞用紙      | H31.7        |

本生産体制再編成を「第6次中期経営計画」(平成30-32年度)において推進することにより、洋紙事業の収益力を強化し、パッケージ、家庭紙・ヘルスケア、ケミカル、エネルギーなどの成長分野の事業拡大と新規事業の早期事業化を実現し、グループ事業全体の成長を加速していきます。

### (3) 当該事象の損益に与える影響

平成31年3月期第1四半期連結会計期間において、当該事象に係る特別損失として148億円を計上しています。なお、損失額はあくまで現時点の試算値であり、今後の決算手続きにより変動する可能性があります。

また個別の損益に与える影響額におきましては、現在算定中です。